

みぞくちミニ新聞

発行元
みぞくち

購読無料
毎月発行

新成人おめでとう

今年はお二人が仲間入り

1月23日みぞくち成人の祝い開催。今年はお二人が新成人を迎えた。

多くの市町村では成人式が中止・延期されることもあったが、みぞくちでは新成人のお二人をお祝いしたかった。みぞくちの全員でにぎやかにとはいかないが、先輩利用者の方々や支

援員が見守る中、大人の仲間入りした二人に祝辞や成人の記念品をお渡しした。

ご本人お二人は、スーツ姿にネクタイを締め、パリッとしたいでたち。いかにも新成人らしい装いと振る舞いだった。私たちが先輩も大人として気持ちの引き締まる思いが

した。ご家族からの心のこもった暖かいメッセージには、ご本人のみならず、所長も目頭が熱くなった。

さあ、新たな出発。お二人とも精いっぱいいろいろなことにチャレンジして欲しい。助けが必要な時には、私たちが支援員も全力で力をかします。

今年の意気込み・商売繁盛熊手

1月29日就労グループの皆さんは、今年の繁盛を願って、商売繁盛熊手の購入に出掛けた。

こここのところ屋内で活動せざるを得ない状況が続いている。就労の皆さんも気分転換が必要。感染予防の為にドライブしなかつたが、いくら気分はリフ

レッシュユでできたかな？とところで、商売繁盛熊手は大変立派なものを購入。今年もみんな力で合わせ

てしっかりと作業に取組もうというひとりひとりの意気込みを、所長は感じた。熊手が作業収益を増やしてくれるわけではない。その熊手を毎日見て、今日も

やるぞと、気持ちを高める就労の皆さんにこそ、作業収益を増やす源がある。毎年このことだが、1年の収益で年度末の一時金（ボーナス）が決まる。

さあ、今年も、就労の皆さんに一時金を配る所長の手には、大きな震えを起こしてほしい。

今年には合わない

あついあつい

昨年末から今年にかけて、いつも必ずやってくる。「あついあつい」がやってこない。

そう、インフルエンザ。みぞくちの皆さんのみならず、巷でも噂を聞く事は無い。これはコロナ感染防止策の副産物か？みんなが新しい生活様式を實踐し、3密を避け、マスクを着用し、感染を防いでいるためだろうか？

あついあついが来ない事はとても良いこと。できることなら、このまま二度と会いたくない。一方、鶏には鳥あついあいつ（鳥インフルエンザ）

が流行した。たくさん鶏が殺処分され、多くの命が犠牲となった。やはり新しい生活様式の実践は効果を出しているのだろう。

しかし、油断は禁物。古来より人とウイルスとの戦いは連綿と続いている。馴染みのあいつだけでなく、新たなあいつや変異したあいつも顔を出すかもしれない。今は一人ひとりが予防に努めるすべてを身に付けつつある。自分や大切な人を守るためにも、私たちが今できる事をしっかりと実践していこう。

ちよっと一息

みぞくちでは年に数回避難訓練を實施している。ご家族の方々に見て頂く機会はなかなかないが、火災報知器が鳴ってから避難場所である駐車場に集まると人員確認が完了するまでに約3分といったところだ。これが早いのかどうかという

と、消防車が到着するまでに大体3〜5分といわれている。それまでには逃げることが出来ていることになり。訓練としては良好である。だが、実際の火災では煙や炎が出る。興奮は必至。だからこそ普段の訓練が肝心なのだ。応急時の対策にこれで大丈夫はない。今後も訓練重ねます。